

平成 30 年度

事業報告及び法人会計決算（計算書類及び財産目録）



社会福祉法人 四万十市社会福祉協議会

目 次

①平成 30 年度 事業報告	1 ページ
②平成 30 年度事業 報告付属明細書	28 ページ
平成 30 年度計算関係書類及び事業等区分一覧表	
① 〃 資金収支計算書 (第 1 号の 1 様式)	29 ページ
② 〃 資金収支内訳表 (第 1 号の 2 様式)	33 ページ
③ 〃 法人拠点区分資金収支明細書 (別紙 3 (⑩))	36 ページ
④ 〃 事業活動計算書 (第 2 号の 1 様式)	39 ページ
⑤ 〃 事業活動内訳表 (第 2 号の 2 様式)	43 ページ
⑥ 〃 法人拠点区分事業活動明細書 (別紙 3 (⑪))	47 ページ
⑦ 〃 貸借対照表 (第 3 号の 1 様式)	50 ページ
⑧ 〃 貸借対照表内訳表 (第 3 号の 2 様式)	51 ページ
⑨ 〃 財産目録 (別紙 4)	52 ページ
⑩ 〃 財務諸表に対する注記 (法人会計)	53 ページ
⑪ 〃 監査報告書	・・・ 55 ページ

平成30年度 事業報告（概要）

社会福祉法人 四万十市社会福祉協議会

社会構造の変化により少子高齢化が進行する中、生活困窮、引きこもり、障害者や単身の高齢者世帯など制度の狭間で、複合的な課題を抱え深刻化・複雑化している中、従来の縦割り型の点の支援ではなく、地域全体を面として捉え、他人ごとではなく「我が事」「丸ごと」受けとめる総合相談や生活支援体制の構築が求められました。

本会では、生活支援体制整備事業や健康・福祉地域推進事業、高齢者の閉じこもり予防等の事業を活用して地域へ出向き、地域ニーズの収集や課題解決に向けた取り組みを行いました。また、総合的な相談を受けながら、必要に応じて各種サービスへつなげ権利擁護等を行った他、3年目を迎えた第2期四万十市地域福祉活動計画「人と人がつながる笑顔あふれる四万十市」を基本構想とし進捗状況の検証と、次期第3期の地域福祉活動計画策定に向け準備を行いました。その他の事業では、民間が参入しない訪問入浴事業を行っておりますが、利用者数が毎年低迷しており経営状況は一層厳しい状況です。

法人運営に関しては、自主財源が乏しく四万十市からの補助金で余儀なく運営しておりますが、四万十市第2次行政改革大綱の見直し項目の中で、本会に対する補助金の見直しが上がっておりますので、職員の給与表の改定を行い運営いたしました。

以下、平成30年度の各事業等の状況について重点目標に沿って報告します。

重点目標

- ① 地域福祉の推進とボランティア活動の充実
- ② 総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進
- ③ 在宅福祉サービスの充実
- ④ 地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

中村地域配食サービス事業（共同募金事業サービス区分）

〈パート1名 調理ボランティア10名 配食ボランティア15名〉

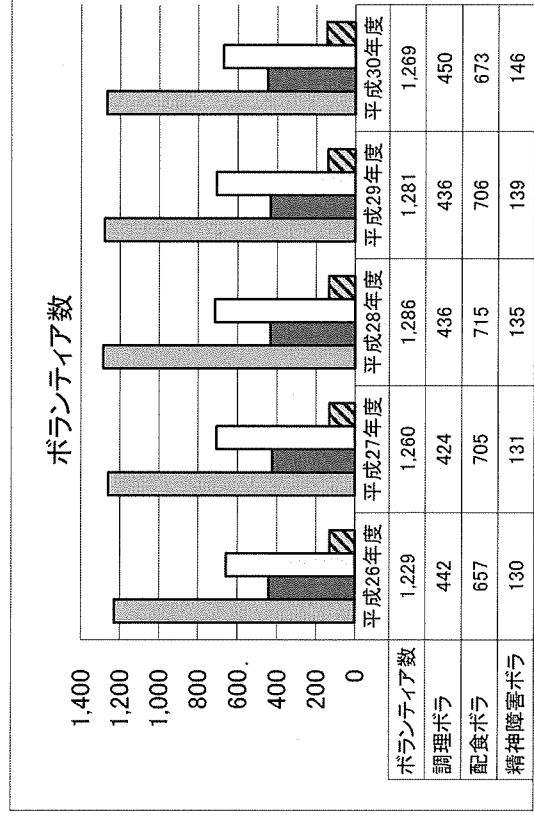
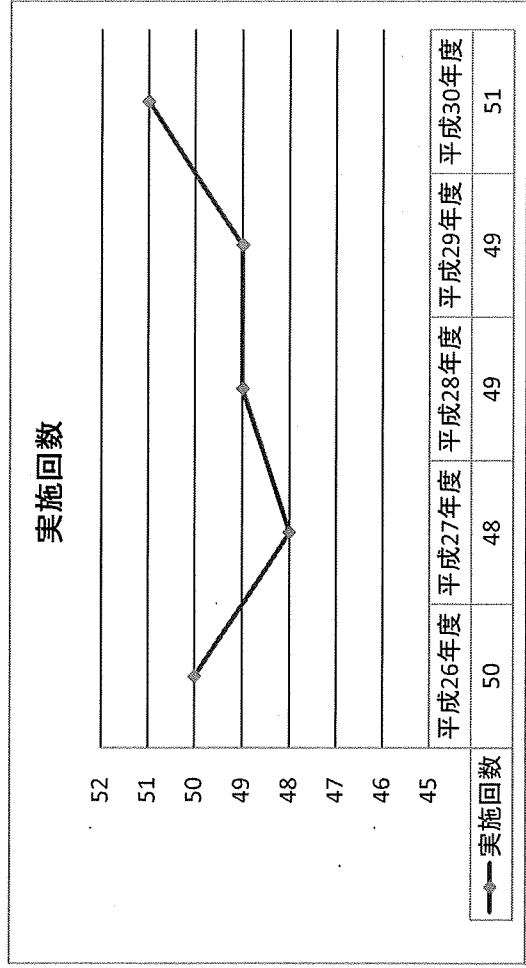
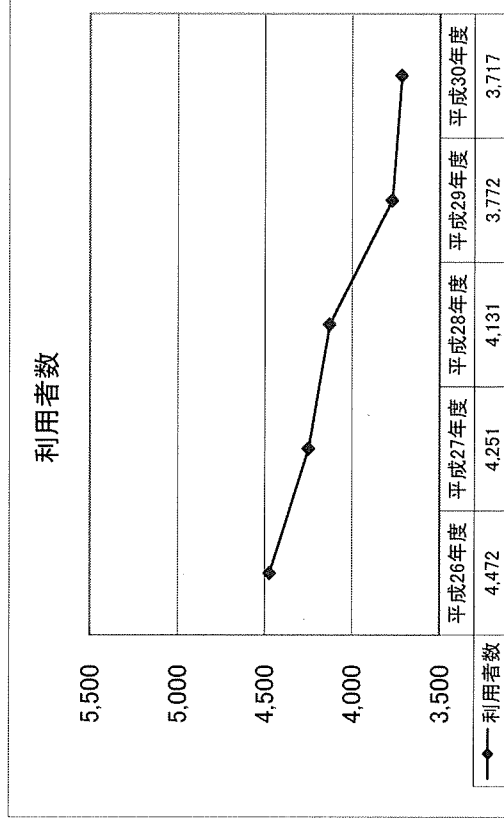
《会費収入 157,058円 市補助金 371,000円 共同募金配分金 1,135,000円 利用者負担額 1,115,100円 決算額 2,778,158円》

75歳以上の在宅の一人暮らし高齢者や重度の障害者世帯に対し、毎週水曜日にボランティアの協力を得て、安否確認を目的に配食サービスを実施しております。

配達のボランティアは、主に民生委員の協力が得られており、調理ボランティアも広報活動の成果が確保できております。

平成30年度3月末の登録者は97名、1回の平均利用者数は72.9名でした。傾向として、通院や他の福祉サービスの利用で、単発的に利用を控えられる方が多くなっております。

また、入院や施設入所等で、利用中止となるケースが多く、利用者が減少傾向となっております。



①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

ボランティアセンター事業(ボランティア活動事業サービス区分) 《職員1名》

《市補助金収入 5,822,000円 会費収入 160,000円 共同募金配分金 332,295円 福祉基金取崩など収入 614,241円 決算額 6,928,536円》

傾聴ボランティアが、施設訪問だけでなく個人宅訪問も増加し活躍の場を広げています。毎月自主的に定例会で近況報告を行い、スキルアップと自主性を高めることができました。

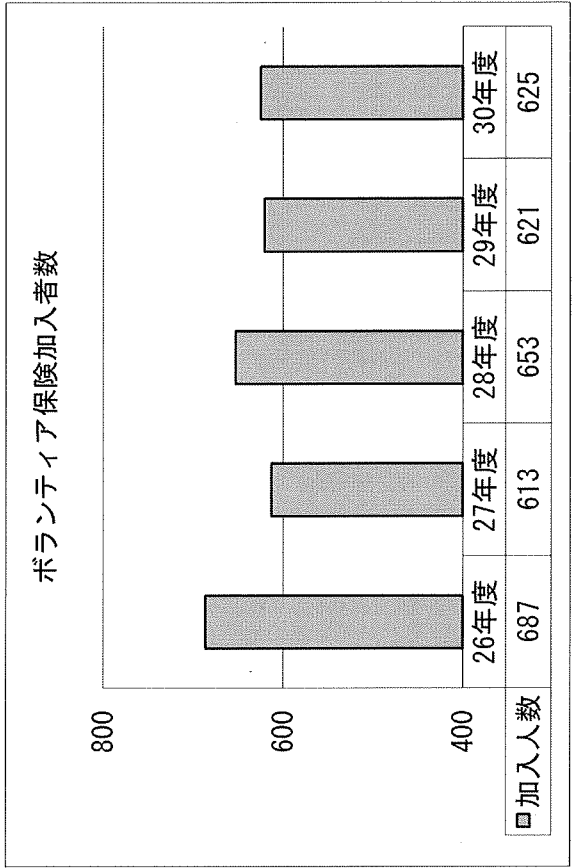
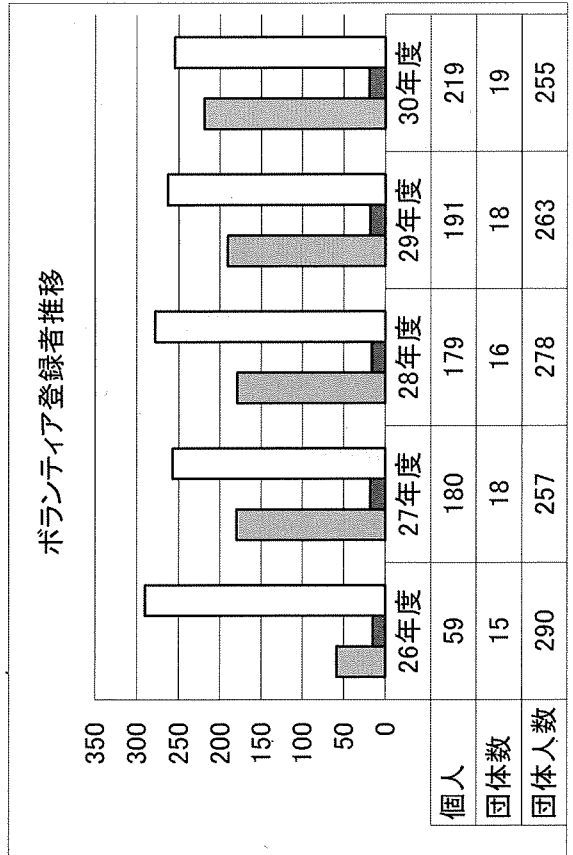
中村地区ボランティア連絡協議会と連携して、高知県聴覚障害者協会から講師を呼び、「聴覚障害の理解と災害時の対応について」の研修会を開催しました。多くの方が参加し、大規模災害時に聴覚障害者とのコミュニケーションを図れる方法等を共有することができました。

一方、新規事業として「災害ボランティア運営基礎研修」を開催しました。自主防災組織や防災士の方等意識の高い方に災害時におけるボランティアセンターがどのようなものか、どのような動きをするのか体験していただき、防災意識を高めることができました。

カドルファミリーの「とことこ」、ワナゲ大会、高知県社会福祉協議会主催のナツボラ等高校生のボランティア参加が多くありました。学生もボランティアに興味がある方が多くなっており、地域福祉の推進につながってきています。

施設や学校からのボランティア要請には、例年通りボランティア団体等を派遣するコーデイネートの役割も果たしています。

- ・傾聴ボランティア・・・施設訪問3回 訪問者延15名 ・4名の個人宅訪問 訪問者延26名 ・定例会11回 参加者延21名
- ・「聴覚障害の理解と災害時の対応について」の研修会・・・H30/10/8開催 参加者延43名
- ・「災害ボランティア運営基礎研修」・・・H31/1/26開催 参加者延73名
- ・「とことこ」登録学生ボランティア・・・16名 ・ワナゲ大会参加学生ボランティア・・・6名 ・「ナツボラ」参加学生ボランティア・・・7名
- ・第13回福祉ふれあい合同運動会・・・H30/10/27開催 総勢約180名参加 ・第4回中村地域ふくしまつり・・・H31/3/10開催 総勢約150名参加



①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

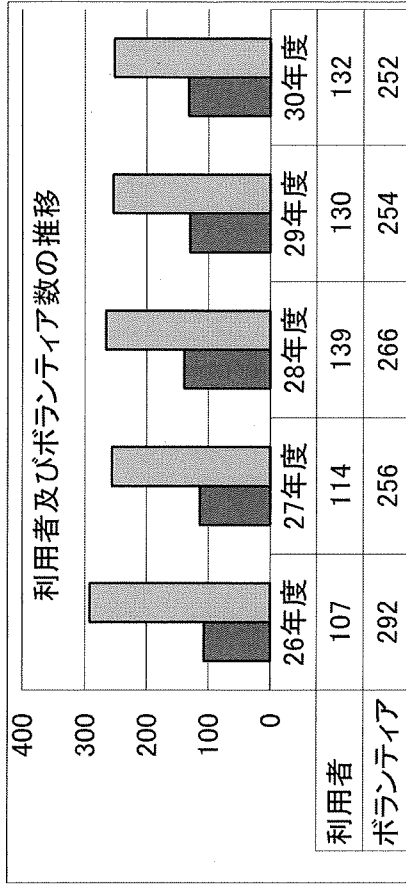
障害者等サービス事業（共同募金事業サービス区分）

《 会費収入 40,609円 共同募金配分金 39,000円 決算額 79,609円 》

朗読サービス事業

朗読ボランティアの協力により、情報不足になりがちな視覚に障害のある方等に、毎月市の広報と社協だよりをCDに録音して送付し、日常生活に必要な情報提供を行いました。

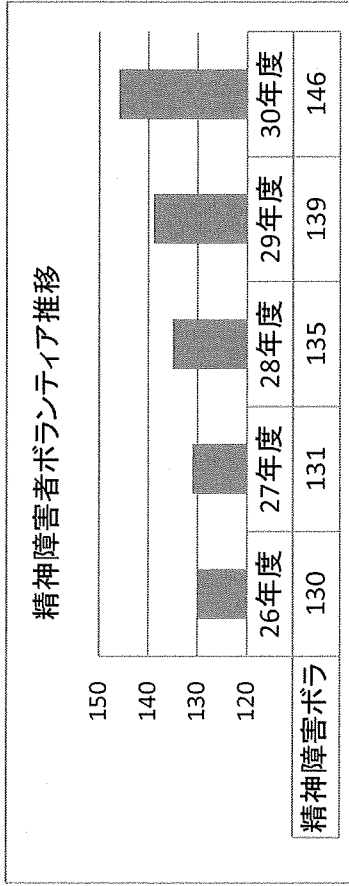
利用している方からは、四万十市の様子が分かって助かっていて、と喜びの声が届いています。



精神障害者社会参加事業

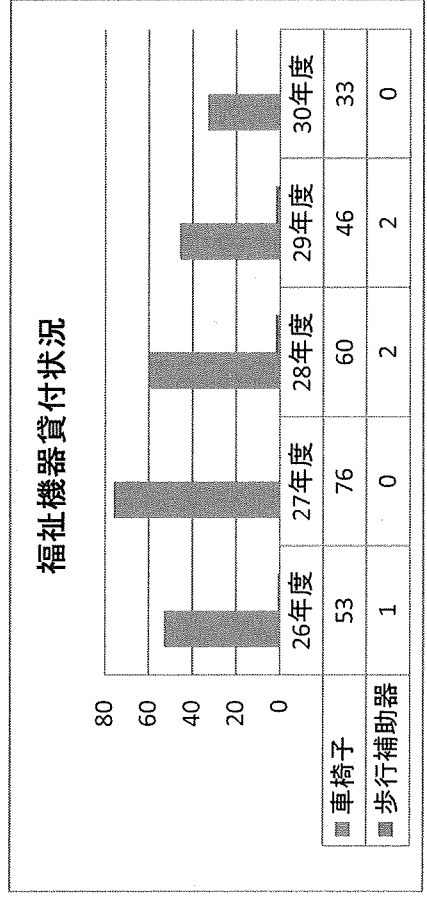
精神障害者の社会参加を目的に、配食サービス事業の弁当の配達を行い、社会参加のきっかけ作りとしています。当事者の体調等により変化があるので、職員がサポートをしながら行いました。

（配食サービス事業でも再掲）



福祉機器貸付事業

身体機能の低下した障害者や高齢者等の生活支援の為、車椅子等を一定期間無料で貸し出し、日常生活の利便を図り、生活の質の向上と併せて介護者の負担軽減に努めました。



①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

福祉教育の推進(共同募金事業サービス区分)

市内小・中学校の児童生徒に、ボランティア活動等の意義や福祉への理解を高め、児童生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることに努めました。また、各学校からの依頼に基づき各種体験学習を行っていますが、昨年度より依頼数が微減しました。

下田中学校では、防災福祉教育も含めて、高齢者疑似体験の装具を着用して車いすの介助をしながら、集会所から避難タワーまで移動する体験を行いました。中村小学校では地域とのつなぎ役になり、地域交流を実施することができ、両者ともに大変喜んでいただきました。

また、四万十玉姫の会主催の「まちづくり人生ゲーム」に参加して、多くの小学生に高齢者疑似体験を行い、福祉教育の推進を行いました。

《職員兼務1名》

学校名等	体験学習等				備考
	実施日	内容	学年	人数	
後川中学校	H30.5.16	高齢者疑似・車いす	1	4名	
県立中村中学校	H30.6.5	高齢者疑似	2	35名	
	H30.6.12			34名	
中筋小学校	H30.6.13	手話学習	全学年	42名	
中村南小学校	H30.7.4	高齢者疑似・車いす	5	38名	
東中筋中学校	H30.10.10	高齢者疑似・車いす	3	12名	
蔵岡中学校	H30.10.17	高齢者疑似・車いす	1・2	4名	
中村小学校	H30.10.29	高齢者疑似・車いす	5	41名	
下田小学校	H30.11.28	高齢者疑似・車いす	4	15名	
市内小学生	H30.12.22	高齢者疑似	—	220名	まちづくり人生ゲーム
東中筋小学校	H31.1.15	アイマスク・高齢者疑似	3	12名	
利岡小学校	H31.1.21	高齢者疑似	3・4	11名	
蔵岡小学校	H31.1.25	高齢者疑似・車いす	1・2	10名	
下田中学校	H31.2.25	高齢者疑似・車いす	1	5名	
東山小学校	H31.2.26	高齢者疑似・車いす	4	52名	
合計				535名	

①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

地域福祉の推進(法人運営及び共同募金配分金サービスク区分)

《福祉活動事業 会費収入 31,477円 共同募金配分金 100,000円 決算額 131,477円》

第39回西土佐地域社会福祉大会では、土佐の国笑いと癒やし研究所代表 及川 勝栄氏による「楽しく笑って認知症予防」と題した講演と、川崎保育所や西土佐中学校、その他住民の方によるアトラクションで楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

健康福祉地域推進事業では、6地区の委員会からの依頼を受け、介護予防のレクリエーションや、健康づくり事業での「認知症」や「健康づくり」の学習会に協力しました。

ボランティアセンターの機能として、福祉施設や小・中学校からの依頼に応え、ボランティア団体やすらぎの会を中心にボランティアを派遣しました。

地域福祉係で実施している「高齢者閉じこもり等予防支援業務」の西土佐地域については、年度末より支所で実施することになりました。

- ・ボランティア団体支援
やすらぎの会、JAこだま会
- ・サークル活動支援 手話教室

事業名	内 容			容		
	内容	場 所	回数	延べ人数	備 考	
西土佐地域社会福祉大会	講演会 アトラクション	ふれあいホール	1回	200名	11/11開催	

健康福祉地域推進事業に協力	介護予防事業に協力			各地域の集会所		
	話し相手 楽しいもの カラオケ 読み聞かせ 読み聞かせ 行事への協力	ダイサービスセンター 特養かわせみ ケアハウス 西土佐小学校 西土佐中学校 特養かわせみ	12回 10回 16回 17回 9回 1回	21名 19名 31名 83名 30名 3名	91名 6地区	
ボランティアセンター機能	合 計					
			65回	187名		

事業名	内 容			備 考	
	関係機関との情報交換及び対象者宅訪問	電話や来所による相談	相談業務等に関連し訪問	件数	備 考
高齢者閉じこもり等予防支援	関	問		1件	
ふれあい相談	電	話		8件	
訪問相談・支援	相	談		0件	
生活福祉資金貸付	問	合		25件	
	福	祉		0件	
小口生活資金貸付	生	活		1件	
車イス貸出	短	期		12件	

①地域福祉の推進とボランティア活動の充実 法人運営(法人運営サービス区分)

西土佐支所にて実施した各団体事務と、関係機関との会議等の状況は以下のとおりです。

【団体事務】

四万十市老人クラブ連合会(西土佐地域老人クラブ連絡協議会)

役員会(4/9,5/10,7/5,9/6,11/1,1/10,3/7)、監査(4/13)、理事会(4/23)、定期総会(5/7)、若手・女性委員合同総会(5/14)、高齢者支援課協議(6/6)
健康管理研修(5/10,8/6,2/13,3/14)、レクリエーション講習(7/6・12,8/9,9/14,1/22)、健康料理研修(8/26,12/14)、手芸教室(6/20)、体力測定(7/25・26)
男の料理教室(4/27,5/25,6/29,7/20,10/26,11/16,12/21,1/18,3/15)、ワナゲ大会(12/6・12)、グラウンドゴルフ大会(9/28)、ゲートボール大会(11/26)
芸能大会関係(5/24,6/20,10/24,11/28)、老連だより関係(7/27,2/4)
ろうれんピック関係(8/6,11/2,11・15)、市町村老連会長・事務担当者会(4/19)、事務担当者会(7/10)、介護予防ブロック別研修(7/31)
元氣はつらつ交流会(8/28)、ブロック別リーダー養成研修(9/26)、県大会・はちきん大会(11/7)、新任会長等研修会(12/13)
(西土佐老連協) 会長会(4/20,3/18)、監査(4/13)、ゲートボール大会(4/23,5/14,6/22,10/11,3/14)、グラウンドゴルフ大会(6/26,11/20)、日帰り研修(7/2)
(単老総会等) 江川崎老人クラブ(5/10)、須崎老人クラブ(5/22,12/7)

西土佐地区民生委員児童委員協議会

定例会(4/24,6/5,8/20,10/15,12/11,3/14)、監査(4/11)、県民生児童委員大会(5/16)、学校訪問(6/15)、幡多ブロック研修関係(6/22,2/18)
視察研修(6/28)、就学前児童保護者との顔合せ(11/12)

四万十市身体障害者連盟

総会(5/2)、幡多地区身障者福祉大会・スポーツ大会(10/10)、グラウンドゴルフ大会(3/5)

日本赤十字社

台風7号被災者へ救援物資届け 1件(7/5)、7月豪雨被災者へ救援物資届け 2件(7/11)

共同募金委員会

街頭募金(10/7)、特別募金(12/14)

【関係機関との会議等】

クレヨンの箱(福祉関係者会議)(4/11,6/13,9/12,11/14,12/12,3/13)、地域課題検討会(4/17,5/8,6/19,7/10,9/18,10/9,11/13,12/11,2/12,3/12)
第2層推進会議関係(4/21,5/12,6/24・29,7/28,9/1,10/3,11/21,1/21,3/30)、JAこだま会総会(4/12)、やすらぎの会総会(5/10)
24時間テレビ関係(6/18,7/31,8/26)、青少年育成会議関係(7/18,8/9)、開かれた学校づくり推進委員会(7/19,2/26)
西土佐福祉会敬老会(9/14)・長寿の祝い(2/21)、西土佐地区健康福祉委員会代表者連絡会(10/12)、介護予防リーダー養成講座(10/18)
じんけんフェスティバル関係(1/20,2/20)、いちいの郷運営推進会議(2/12)

②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉サービス利用援助事業（福祉サービス利用援助事業サービス区分）

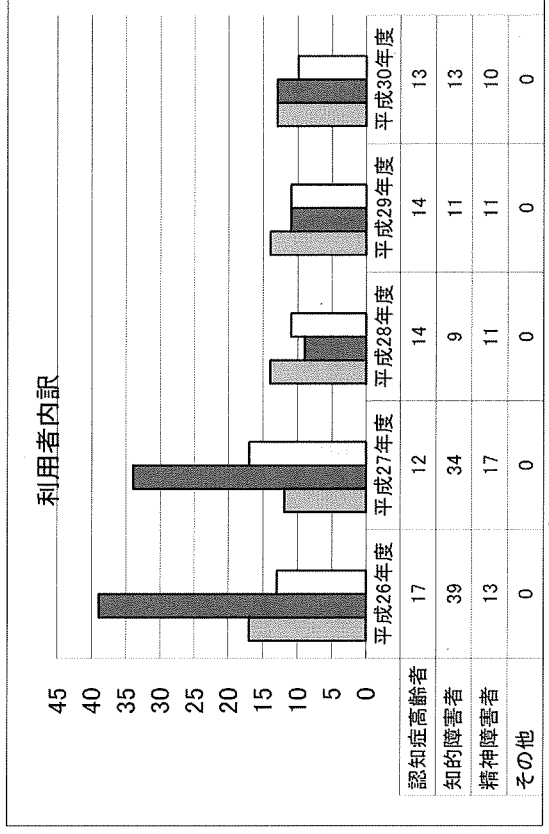
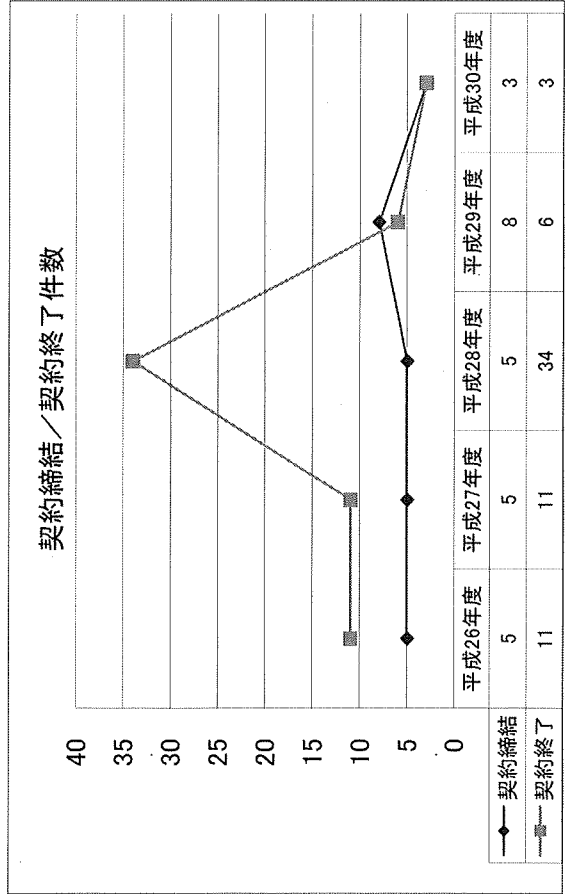
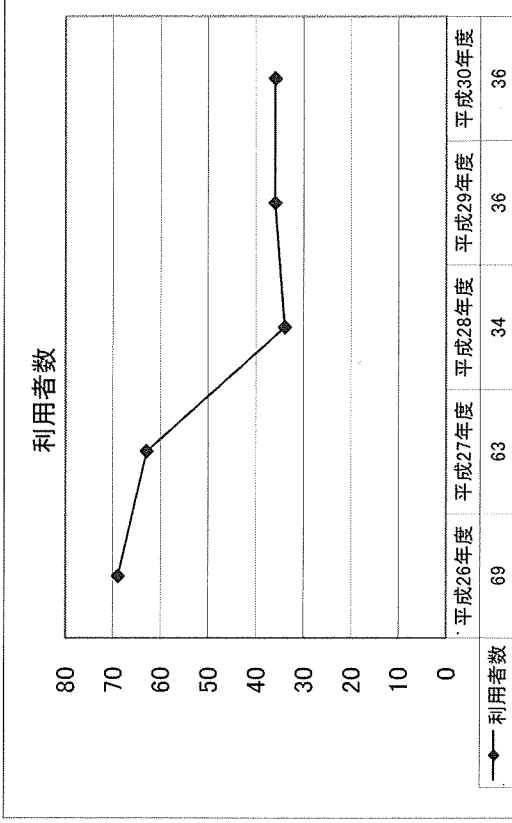
〈職員2名〉兼務

《 県社協受託金2,124,500円 利用料 231,000円 後見報酬 1,752,600円 市補助金2,622,929円 積立資金取崩179,000円 前期末支払資金 262,020円 決算額 7,172,049円 》

認知症や知的障害・精神障害等により判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行い、地域で自立し、安心して暮らせるよう専門員2名、生活支援員6名の体制で利用者の支援を行いました。

今年度は関係機関からの相談が多くなりましたが、結果として契約締結まで至りませんでした。理由として、本事業利用の条件である、福祉サービスを利用しなかったことや本人の利用意思が得られなかったことが原因と考えられます。

- ・新規契約件数 3名
- ・契約終了者数 3名
- ・年度末利用者数 36名（うち書類預りのみ利用者5名）



②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

法人後見事業（福祉サービス利用援助事業サービス区分）

<職員3名兼務>

《 後見報酬収入 1,752,600円 》(福祉サービス利用援助事業再掲)

認知症・知的障害・精神障害等、意思決定が困難な人の判断能力を補うため、成年後見人、保佐人又は補助人になることにより、その人の財産管理や身上監護を行い、その人の権利を擁護することを目的に支援を行っています。

在宅の利用者の方と施設の方では、在宅の方が支援に手間が非常にかかり時間がかかります。また、施設の利用者についても、病气や転院等について対応が多くありました。今後、法人後見事業所としてどれだけの方を受け入れるかの体制も一つの課題となっています。

- ・新規契約件数 3名
- ・契約終了者数 0名
- ・年度末利用者数 9名

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
問合せ件数	4	13	10	4	9
支援回数	28	144	229	357	392
新規契約数	3	3	1	2	3
契約終了	0	2	0	1	0
延べ利用者数	14	28	60	80	75
実利用者数	2	6	5	6	9

※後見対象者 判断能力が欠けているのが通常の状態の方
 ※保佐対象者 判断能力が著しく不十分な方
 ※補助対象者 判断能力が不十分な方

受任時年齢	類型	障害等	審判到達日	申立人	現在の状況等	利用経緯等	備考
26年度	88歳	後見	後見	四万十市長	施設	地域包括	
	86歳	後見	認知症	配偶者	施設⇒病院	家庭裁判所	H27/4/14死亡
	82歳	後見	認知症	四万十市長	病院	地域包括	H27/6/14死亡
27年度	86歳	後見	認知症	甥	在宅⇒施設	家庭裁判所	
	91歳	後見	認知症	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	
	64歳	後見	知的障害	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	
28年度	84歳	後見	認知症	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	
	86歳	後見	認知症	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	H30/3/30死亡
29年度	81歳	後見	認知症	四万十市長	在宅⇒病院	地域包括	
	77歳	後見	認知症	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	
30年度	87歳	後見	認知症	四万十市長	在宅	地域包括(福祉サービス利用者)	
	87歳	後見	認知症	四万十市長	在宅	地域包括(福祉サービス利用者)	
	50歳	後見	知的障害	四万十市長	病院	地域包括(福祉サービス利用者)	

②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

ふれあい相談センター事業（共同募金事業サービス区分）

《 会費収入 184,000円 共同募金配分金 195,000円 決算額 379,000円 》

一般相談	毎週 月～金曜日	午前 8 時30分～午後 5 時15分	(四万十市社会福祉センター 本所)
法律相談	月/2回 第1・3月曜日	午後 1 時30分～午後 3 時30分	(四万十市社会福祉センター 本所)
支所相談	毎週 月～金曜日	午前 8 時30分～午後 5 時15分	(四万十市総合福祉センター 支所)

一般相談については、来所や電話の相談を基本に必要に応じて訪問による対応で実施しました。相談件数は昨年度より減少しましたが、フードバンクに関する相談が圧倒的に多く、生活問題も含めて生活困窮に関する相談が多い結果となりました。また、法律相談については1回につき上限4名として毎月2回実施していますが、相談者が多く住民からは問題が解決して良かったと喜んでいただいている事業で、今後も継続して実施していきます。

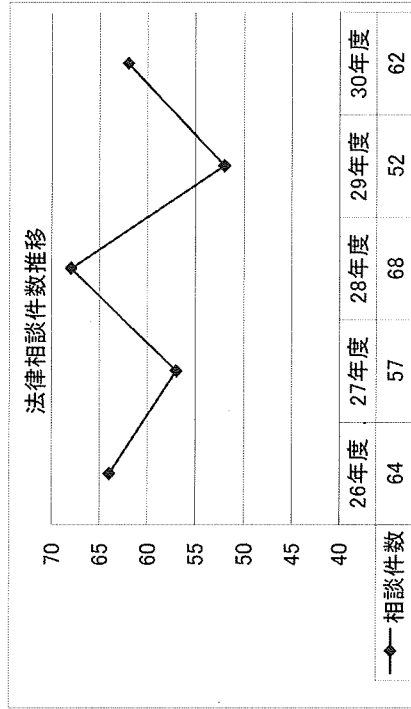
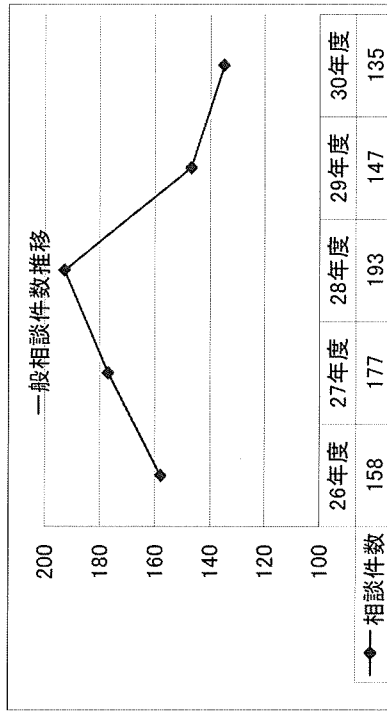
1	生活問題	23	1	老人福祉問題	36	1	老人福祉問題	26	1	金銭問題	51
2	精神・衛生問題	17	2	生活問題	25	2	生活問題	24	2	生活問題	37
3	金銭問題	12	3	健康・衛生問題	16	3	金銭問題	24	3	家族・結婚・離婚問題	14

29年度		30年度			
1	生活問題	34	1	フードバンク	93
2	金銭問題	29	2	生活問題	19
3	職業・生業問題	11	3	金銭問題	8
3	介護保険・老人福祉問題	11			

※1 一般相談については、職員が対応

※2 法律相談については、弁護士が対応

中村ひまわり基金法律事務所・法テラス中村法律事務所の弁護士が輪番対応



②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

小口生活資金貸付事業(貸付事業サ―ビス区分)

低所得者等に対し、短期の生活資金貸付と相談援助を行うことにより、生活の安定を図ることができるよう努めました。
長期滞納者に対しては償還指導等を行い、延滞利息を可能な範囲で償還してもらったことができました。四万十市は県内でも生活保護申請者のつなぎ資金として緊急小口貸付制度の利用が多い傾向にあり、福祉事務所と連携して対応しています。

※ 資産の状況(平成31年3月31日)

・預金残高 6,933,258円

※ 小口貸付等の状況

・相談件数 66件
・貸付額 330,000円(4件)
・貸付残額 201,545円
・償還終了件数 4件

※ 特別小口貸付等の状況

・相談件数 7件
・貸付額 25,000円(5件)
・貸付残額 0円
・償還終了件数 5件

生活福祉資金貸付事業(貸付事業サ―ビス区分)

《 県社協受託事業決算額 886,000円 》

低所得者等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより経済的自立、生活意欲の助長促進並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

【平成30年度貸付等の状況】

* 問合せ・相談件数 468件
* 申請件数・・・ 24件(合計 1,807,000円)
* 貸付件数・・・ 22件(合計 1,741,000円)

(貸付内訳)

教育支援資金・・・1件(780,000円)
福祉費 …… 3件(94,000円)
緊急小口資金・・・17件(867,000円)
うち13件は生活保護へのつなぎ資金となっています
不動産担保型生活資金・・・1件

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	前年度比 H30年-H29年
貸付件数	5	3	6	3	4	1
貸付額	490,000	230,000	505,000	220,000	330,000	110,000

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	前年度比 H30年-H29年
償還完了件数	6	4	4	6	4	-2
償還額	339,000	439,649	373,000	460,000	239,512	-220,488
内延滞利子	5,000	7,649	18,000	20,000	1,057	-18,943

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	前年度比 H30年-H29年
年度末貸付件数	5	4	6	3	3	0
貸付残額(元金)①	382,000	180,000	330,000	110,000	201,545	91,545
延滞利子②	139,895	135,911	117,911	98,096	0	-98,096
年度末残額①+②	521,895	315,911	447,911	208,096	201,545	-6,551

※H30年度 1件延利償還免除

フードバンク事業

生活に困窮し日々食に困っている人々を対象に、市民の方々より食料品の寄付や、フードバンク高知・セカンドハーベストジャパンより食料品を無償でいただき提供する事業を行っています。今年度も、市民の方々より多くの食料品をいただきました。

市民やフードバンク高知等から提供を受けた食料

・重量換算で年間 710.1*
・提供した世帯(人数)… 90世帯(116名)

②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉人材バンク事業（福祉人材バンク事業サービス区分）

〈職員1名兼務〉

《 県社協受託金 4,120,000円 市補助金収入 1,831,137円 積立資産取崩収入 314,000円 サービス区分繰入金 521,000円 その他の収入 11,970円 決算額 6,798,107円 》

無料職業紹介事業では幡多6市町村と四万十町を管轄区域として、求職登録者が希望する求人に応じて福祉・介護の職場へとつながりました。平日は常時窓口での相談を行い、広報誌等への周知や関係機関との連携により登録者の確保と求人情報の提供を行いました。また、今年度はハローワーク四万十と共催でふくしの仕事相談会（17名参加・3名就職）を開催し、福祉職の魅力発信する機会も設けました。8月と2月に高知市で開催されたふくし就職フェアへも主催者として参加しました。

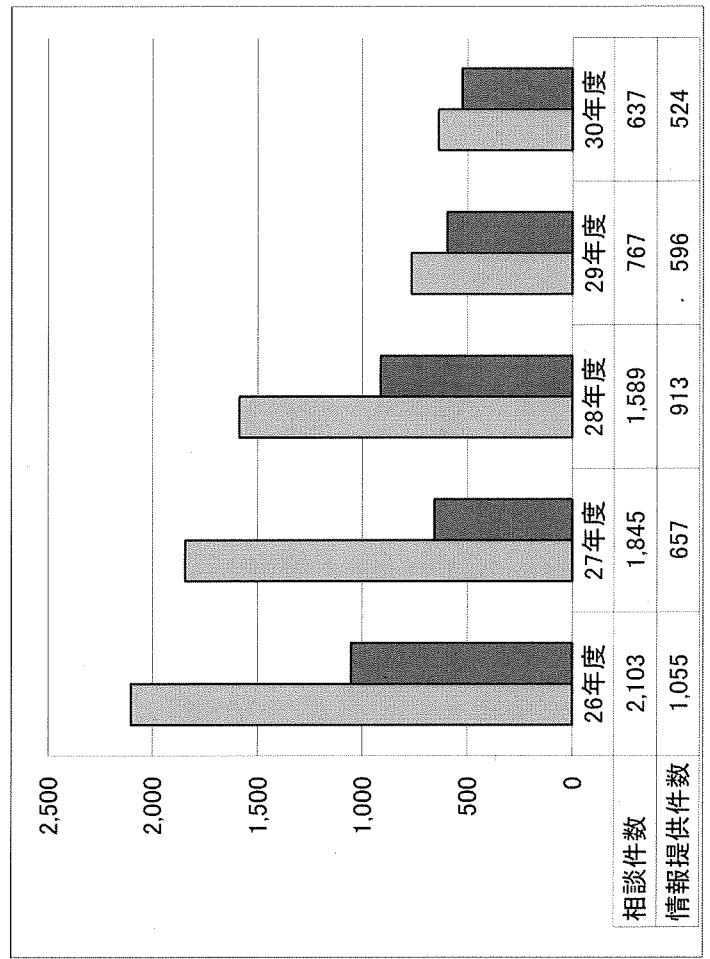
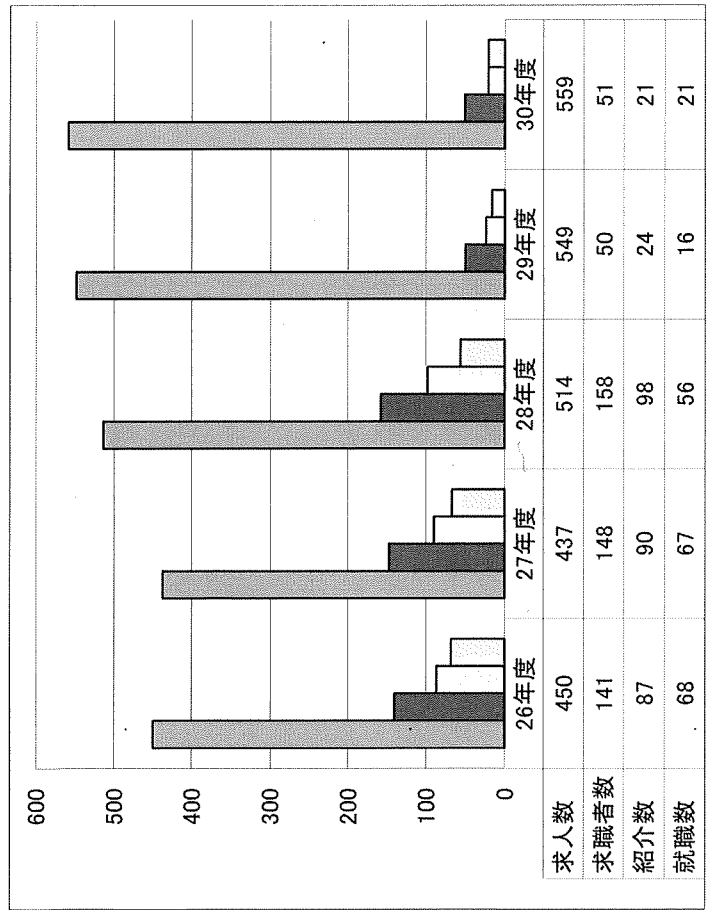
福祉人材養成事業として、介護福祉士と介護支援専門員の模擬試験を開催しました。また窓口相談等で資格取得方法や講習先情報等の提供を行いました。

少子高齢化の進行と人口減少が進む中で、介護・福祉人材の確保は喫緊の課題であります。今後は更なる福祉・介護の新規求職登録者の確保と、潜在有資格者の掘り起こしに取り組み、併せて現在働いている介護職員の離職を防ぐことが一番の人材確保であるため、施設訪問等で定着を図っていきます。

【福祉人材バンク事業】介護福祉士模擬試験開催…1回16名受験 介護支援専門員模擬試験開催…1回6名受験

【啓発広報事業】社協だより掲載（四万十市、土佐清水市、宿毛市） 行政広報掲載（四万十市）

【運営委員会開催】1回



②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉・介護人材マッチング機能強化事業（福祉人材バンク事業サービス区分）〈職員1名兼務〉

《 県社協受託金 2,632,000円 市補助金 3,448,502円 決算額 6,080,502円 》

幡多人材バンクにおけるマッチング機能の強化及び施設・事業所における職員の定着促進を目的として、求職者への支援や施設・事業所への助言を行いながら、対象者に応じた細やかなマッチングの実施や就職後のフォローアップ、働きやすい職場づくりへの支援等を行いました。就職後のフォローアップでは職場の雰囲気や体調面などを聞かせてもらい、入職者からは気分が楽になったと喜んでもらい定着支援につながっています。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
延訪問件数(件)	136	393	121	45	50	
訪問日数(日)	78	88	33	23	23	
ハローワークセミナー開催(回)	12	12	12	12	12	
延参加者(人)	115	123	73	57	30	
延福祉職場体験者(人)	11	7	6	6	5	

③在宅福祉サービスの充実

高齢者はつらつダイヤサービス事業 (はつらつダイヤサービス区分) <職員1名 臨時3名>

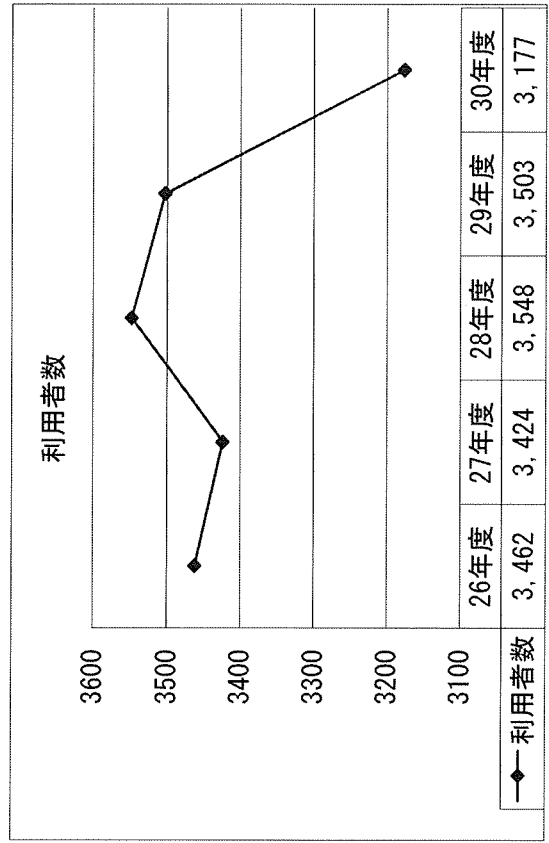
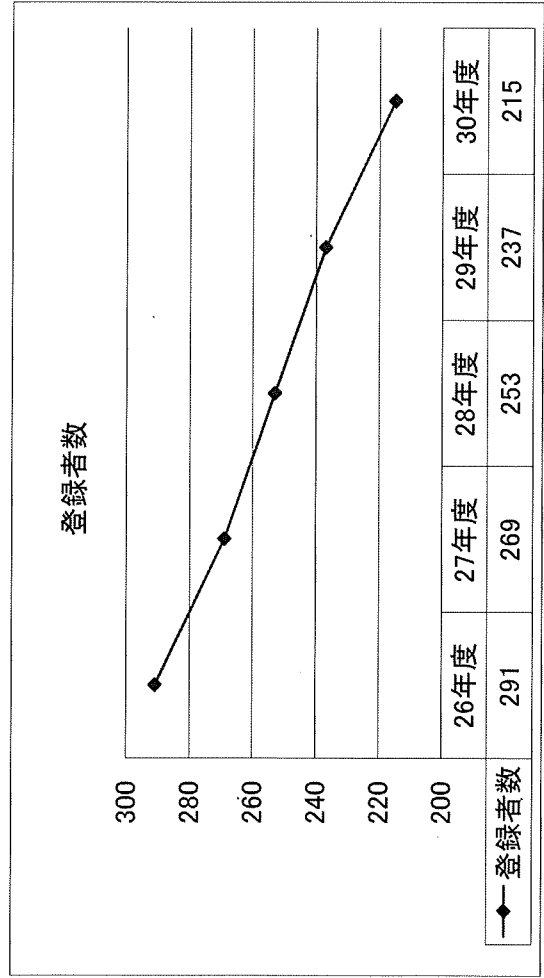
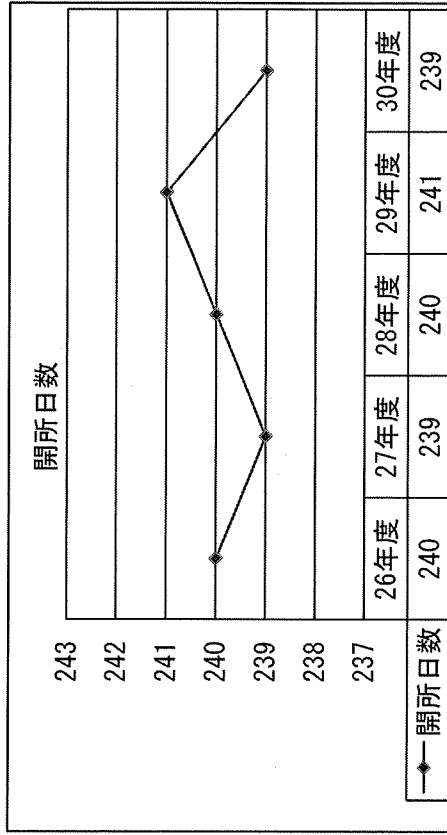
《市受託金 10,293,480円 市補助金3,754,000円 利用料 1,906,200円 積立金取崩収入 836,000円 サービス区分間繰入金 957,804円 前期末支払資金残高 67,642円 決算額17,805,126円》

介護保険非該当の利用者(65歳以上の高齢者)に対し、健康チェックや創作活動、レクリエーション、日常必需品の買出しなどのサービスを提供し、高齢者が楽しく生きがいをもてるよう事業を実施しました。

本年度も、介護保険で認定をされた方、長期入院等の利用者が多く登録者数が減少し、前年度比で326名も減少したことから、3月から1班減の12班編成で行っています。

利用者増の為、買物やドライブ等の希望回数等についてアンケートを実施した結果、現状を望む方が多数だった為大幅な内容変更は控えておりますが、より魅力ある内容にすべく、今後は少数意見も検討しながら改善に努めていきます。

また、中村小学校2年生、5年生、保育園児との交流会を実施し、好評だった為、今後も企画を継続していく予定です。



③在宅福祉サービスの充実

訪問入浴事業(介護保険事業サービス区分)

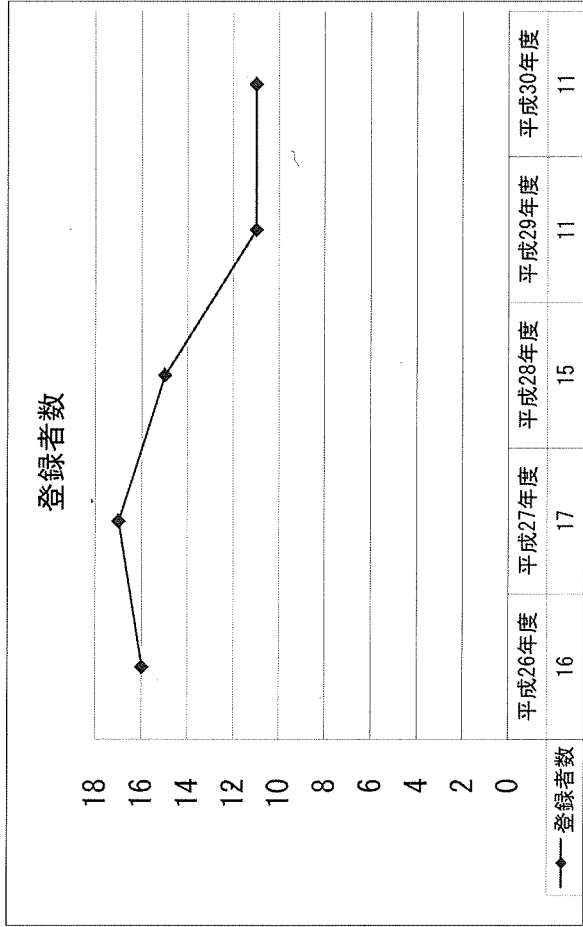
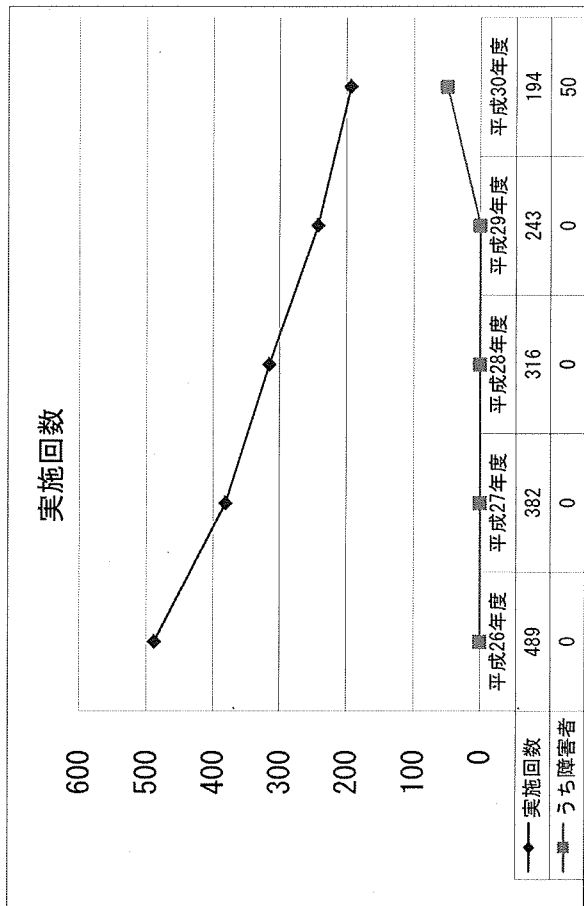
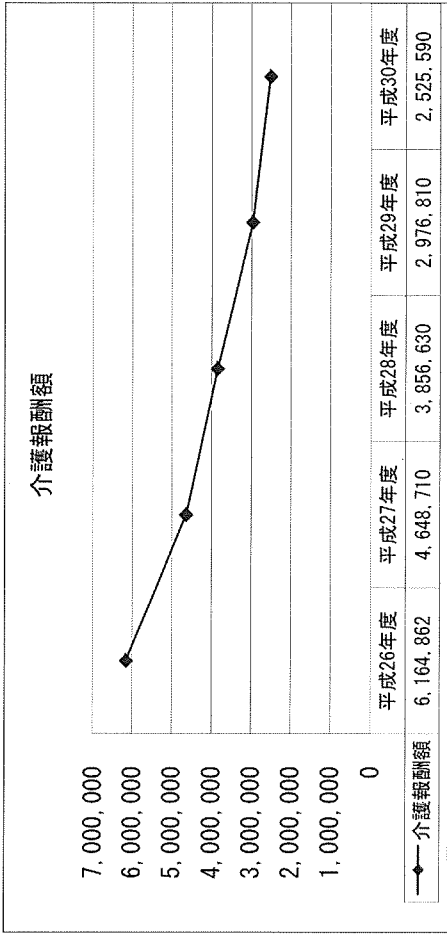
〈職員1名兼務 パート2名〉

《介護保険事業収入 2,525,590円 市補助金 2,518,000円 身体障害者事業受託金収入625,000円 前期末支払資金残高 96,507円 決算額 5,765,097円》

介護認定を受けた寝たきりの方等に対し、自宅のベットの横に浴槽を設置し、安全に心がけながら、入浴サービスを提供し、利用者のみだけでなく、介護されている家族へのメンタル面での配慮等、介護負担が軽減するようなコミュニケーションやサービスの提供に努めてきました。

登録者は、前年度と比較し減少しており、一時的な入所や入院による入浴回数の減少もあり、大幅な減収となりましたが、10月より障害を持った利用者が1名増えたことで、事業収入はトータルすると前年度を上回りました。

3月末現在の実質入浴利用者は4名で、火・金曜日週2日のみ稼働しております。



③在宅福祉サービスの充実

介護認定調査事業(介護保険事業サービス区分)

<臨時1名・兼務正職員2名>

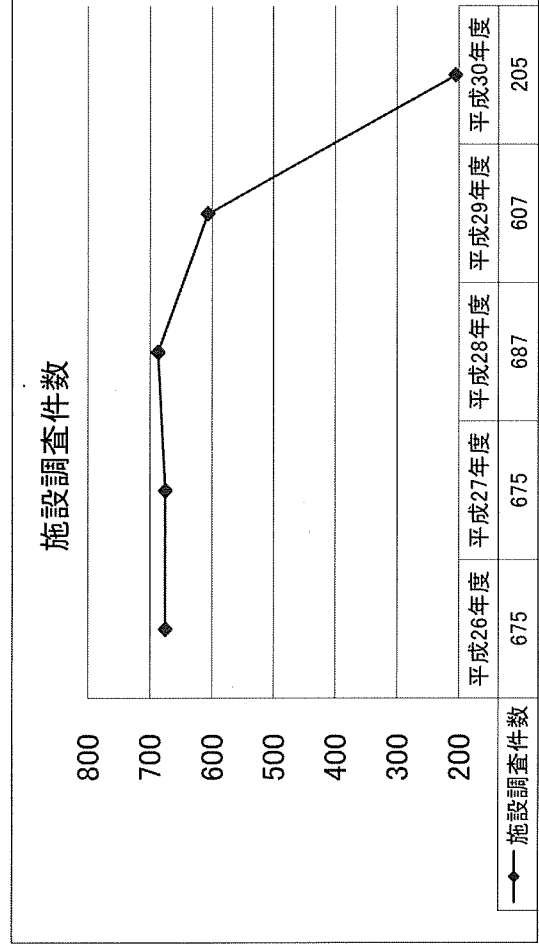
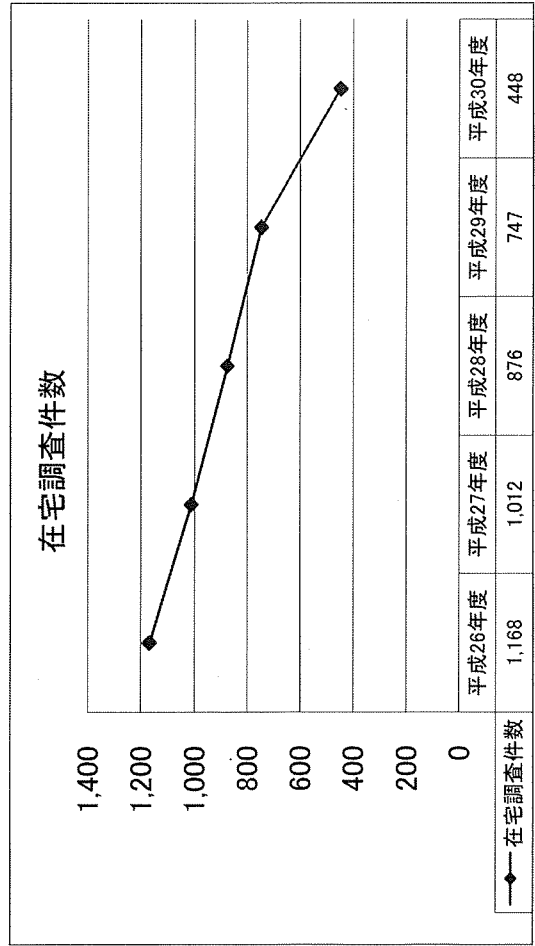
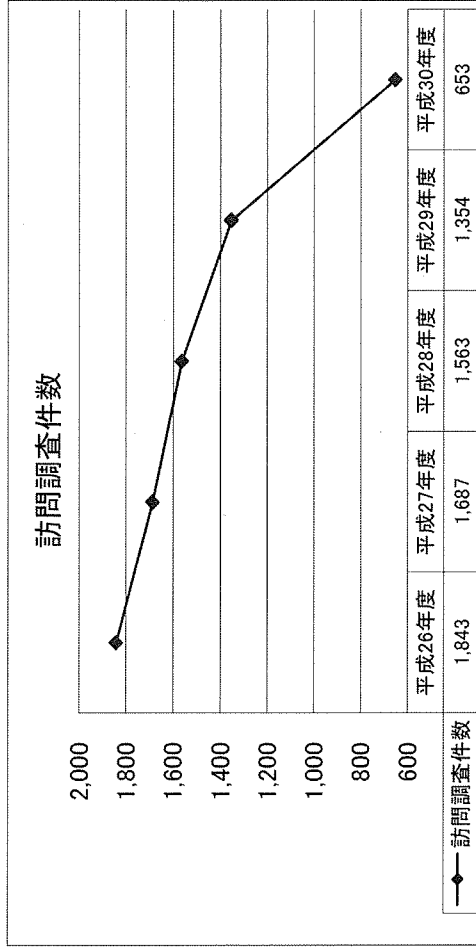
《 市受託金収入 3,526,200円 前期末支払資金 291,841円 決算額 3,818,041円 》

事務受託法人として市より委託を受け、介護認定調査の依頼があった方を全国一律のものをもとを基準に、聞き取り訪問調査を行っています。

今年度から正職員を配置せず、臨時職員を主として調査事業に取り組んできましたが、当初予定していた調査件数を行うことができませんでした。

原因として、臨時職員がなれるまでに時間を費やしたこと、在宅での調査件数が増え、施設の調査件数が減ったことで時間を要したことで、職員の協力体制が十分できなかったことがあげられます。

次年度は受託件数を少なくし、職員の協力を受けながら取り組んでいきます。



③在宅福祉サービスの充実

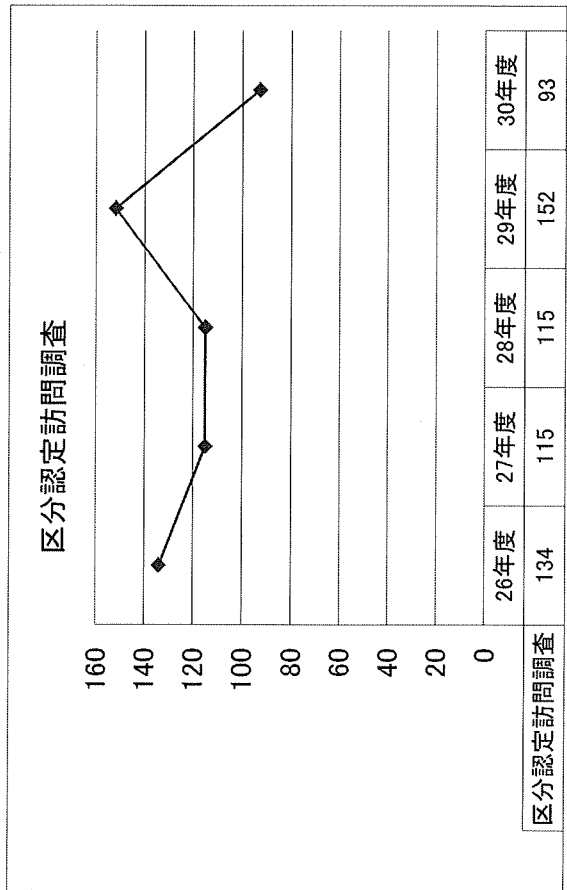
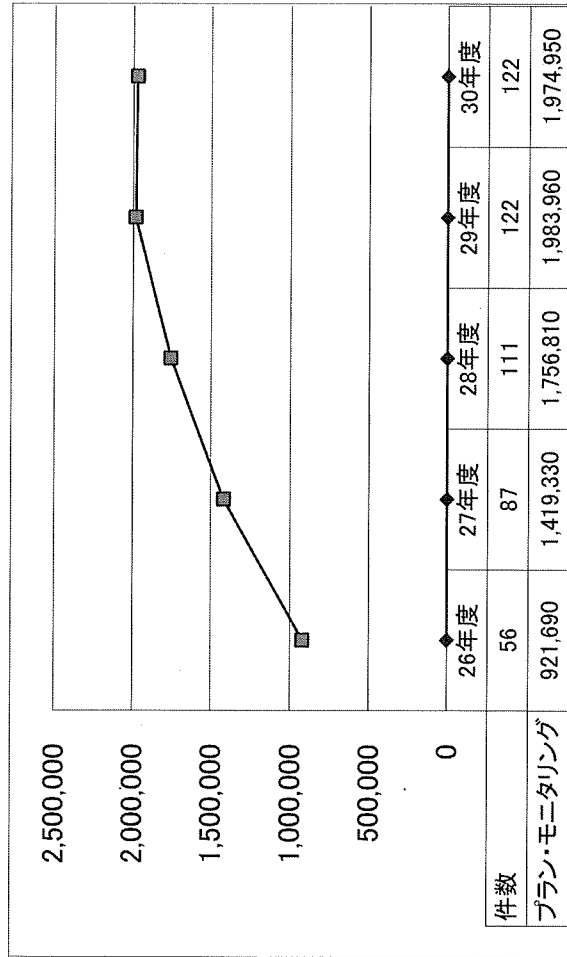
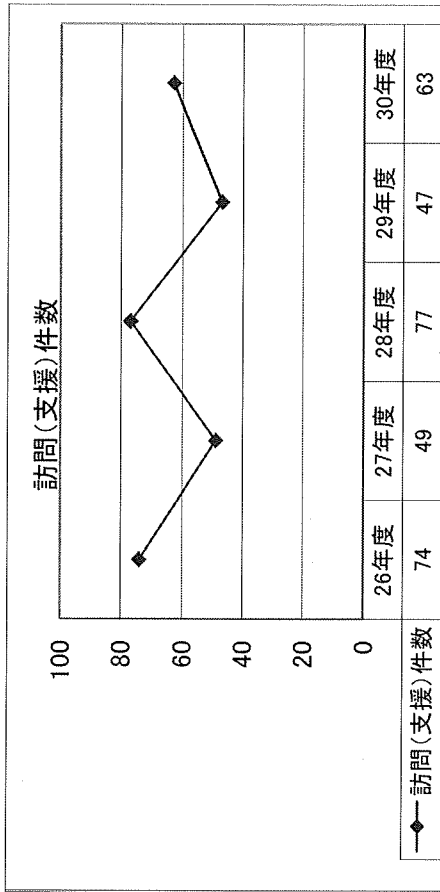
障害者支援センター事業(障害福祉事業サービス区分)

〈職員1名〉

《市受託金4,659,000円 障害支援区分認定調査513,000円(他市町村2件含む) サービス区分間繰入金87,739円 決算額 7,234,689円》

支援センター業務として、電話や来訪、訪問等で身体、知的、精神障害者の生活相談に応じ、関係機関につなぐ等の連絡調整や支援困難ケースにおいては申請書類の代行や同行等の直接的支援を実施しております。また、四万十市から委託を受けて障害支援区分認定調査も依頼に応じ実施しております。相談支援事業所として、障害福祉サービスを利用するために必要なサービス利用計画の作成や調整、定期的なモニタリング(計画の見直し)等を行っており、契約者は増加傾向ですが、報酬改定により次年度は減収となる事が予測されます。

- ・平成30年度相談支援事業所新規契約者 15名
- ・介護保険移行・転出・死去等にて中止 7名
- ・サービス利用休止 2名
- ・平成31年3月末 実質利用者 63名



③在宅福祉サービスの充実

生活支援コーディネーター設置業務（地域福祉活動事業サービス区分）

《 市受託金決算額 12,086,050円 》 < 職員1名・臨時1名 >

生活支援コーディネーターは、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的として、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築や社会資源の開拓に取り組んでいます。

今年度は、地域に設置した第2層生活支援サービス推進会議（第2層推進会議）の活動に重点的に取り組みました。この会は、数ある地域課題の中から「自分たちのやりやすい課題」について既存の社会資源やネットワークを活用しながら解決・軽減を図ることを目的に設置しており、各圏域で方向性を設定し、課題に即した資源開発に取り組んでいます。中村東圏域では、高齢者の集いの場が少ない旧中村市街地で保育所を活用した介護予防の拠点づくりを進めています。西土佐圏域では、西土佐南津地区を対象とした公共交通を有効に活用した買い物ツアーを予定し、移動手段のない高齢者の買い物支援の仕組みづくりに取り組んでいます。

また、生活支援コーディネーターと関係性の維持・向上は強く意識しており、既存の健康福祉委員会の活動にも積極的に関与するとともに、新規健康福祉委員会の設立（中村地区健康福祉委員会の移行含む）に向けた地区への働きかけにより今年度は15地区で健康福祉委員会が設立されています。さらには、健康福祉委員会の事業活動の充実・強化に向け、介護予防リーダー養成講座等の人材養成にも取り組みました。引き続き、健康福祉委員会の資質を高めていきます。

<主な活動内容>

生活支援体制整備事業関係	件数	備考
①ニーズや地域資源情報の把握	40件	地域ケア会議他
②サービス・支援の担い手の養成	12件	介護予防リーダー養成講座他
③研修会の参加（研修会・出張他）	25件	
④関係者間との情報共有	23件	行政・事業所他
⑤推進会議（第1層・第2層）	36件	第1層5回開催 第2層31回開催
⑥その他	21件	あつたかふれあいセンターとの連携他
計	157件	

健康福祉委員会関係	件数	備考
①介護予防・健康推進事業への協力	36件	介護予防体操・学習会他
②健康福祉委員会の設立関係	16件	15地区で設立
③意見交換会の開催・参加	13件	
④活動の広報支援	60件	「地域のいきいき活動」・facebook他
⑤支え合いマップの作成・更新	4件	4地区で作成
⑥その他	7件	わなげ交流大会関係者含め371名参加
計	136件	

③在宅福祉サービスの充実

高齢者閉じこもり等予防支援業務事業（地域福祉活動事業サービズ区分）〈職員 1名〉

《市受託金 6,865,000円 サービズ区分間繰入金 17,836円 決算額 6,882,836円》

この事業は、閉じこもり等支援が必要な高齢者を効果的かつ有効な方法で早期把握し、介護予防活動等へ繋ぐことで、要介護状態に陥ることを防ぐことを目的としています。民生委員や健康福祉委員会等から聞き取った情報をもとに訪問し、必要に応じて、他機関や制度等へつなぐことや、月1回の閉じこもり報告会では高齢者支援課・地域包括支援センター・あったかふれあいセンターと支援内容の検討等を行いました。

今年度については、新規にかかわったケースから終了できないケースが多くあり、結果として訪問件数が前年度より増加しました。

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	H30年度-H29年度
個別訪問件数	372	355	387	32
うち新規件数	149	110	77	-33
うち終了件数	148	103	55	-48
他機関への繋ぎ等件数	56	43	18	-25
事業説明・聞き取り等訪問件数	65	53	35	-18
定期閉じこもり報告会等(回)	11	12	12	0
個別ケース検討会(回)	5	5	19	14
緊急通報装置撤去作業件数	9	10		-10

③在宅福祉サービスの充実

まちなかサロン(社会福祉事業サービス区分)

〈他業務と兼務 職員1名〉

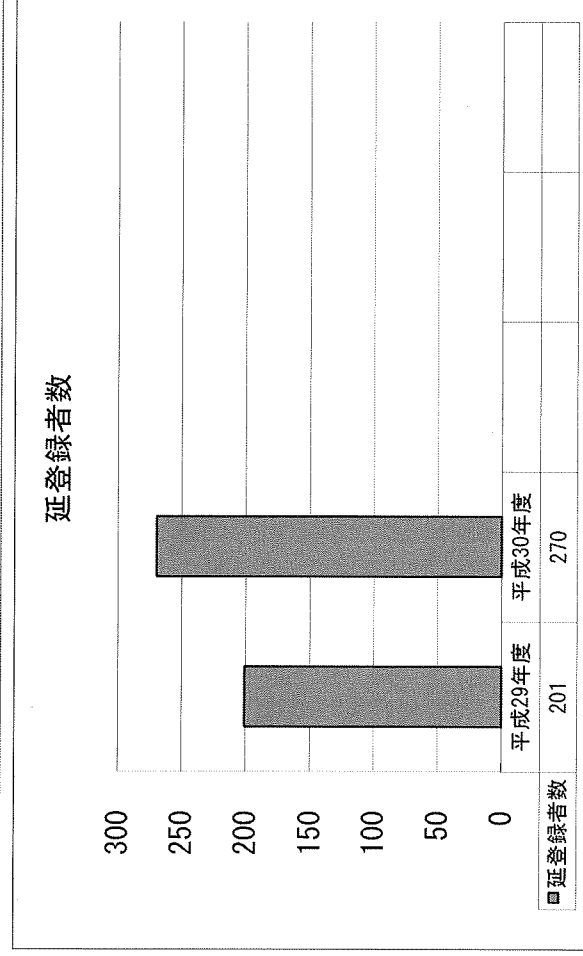
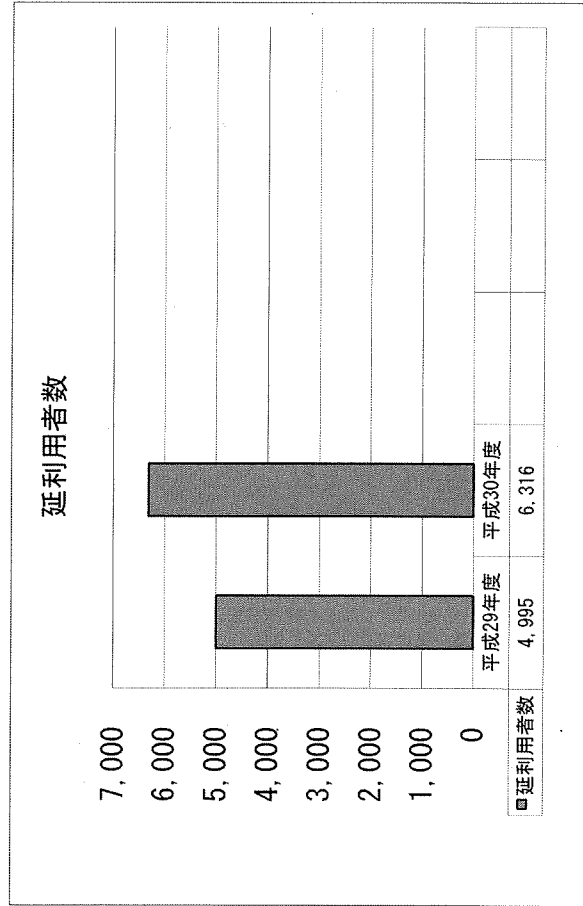
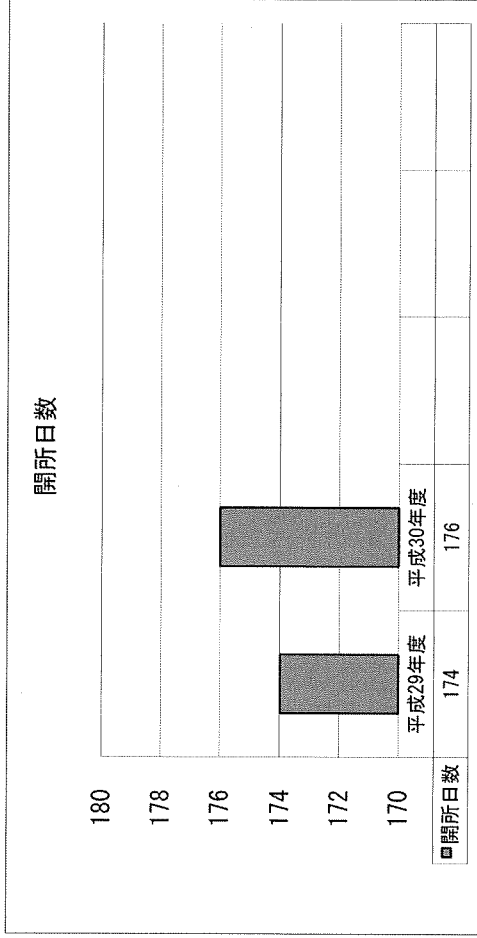
《 市受託金 4,730,529円 利用料収入 603,000円 決算額 5,333,529円 》

65歳以上の高齢者の方を対象に、自主的な介護予防、生きがいづくりの推進を目的に、いつでも気軽に誰もが自由に出入りできる集いの場となっておりです。

水曜日を除く平日9:00～16:00、介護予防体操を中心に趣味の創作活動、カラオケ、卓球など自由に過ごしていますが、利用目的として介護予防体操を挙げる方が多いようです。

また、ボランティアや利用者の提案を受けて、お茶会、牛乳パックの椅子作り、ピアノ伴奏での合唱会等、いろいろなイベントを開催致しました。

市内の医療機関や量販店にチラシを掲示した成果もあり、1年を通して新規利用申請がありましたので、今後も継続してPR活動にも力を入れていきます。



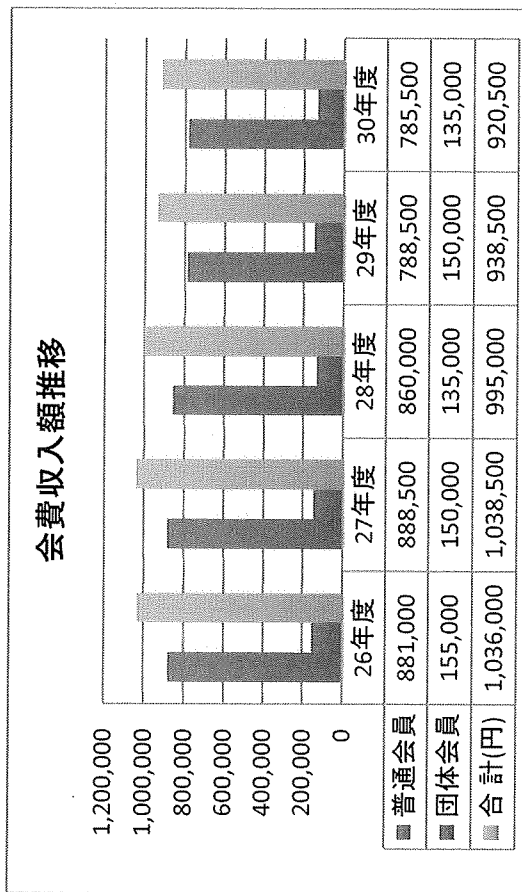
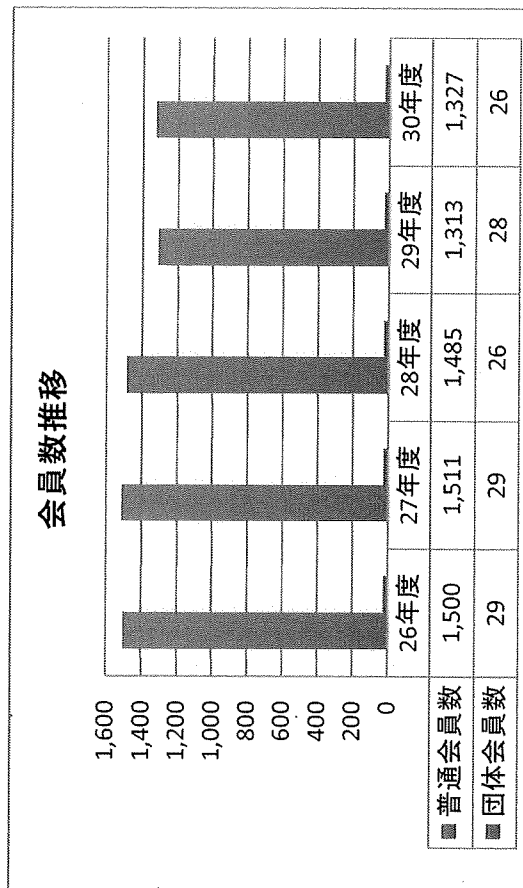
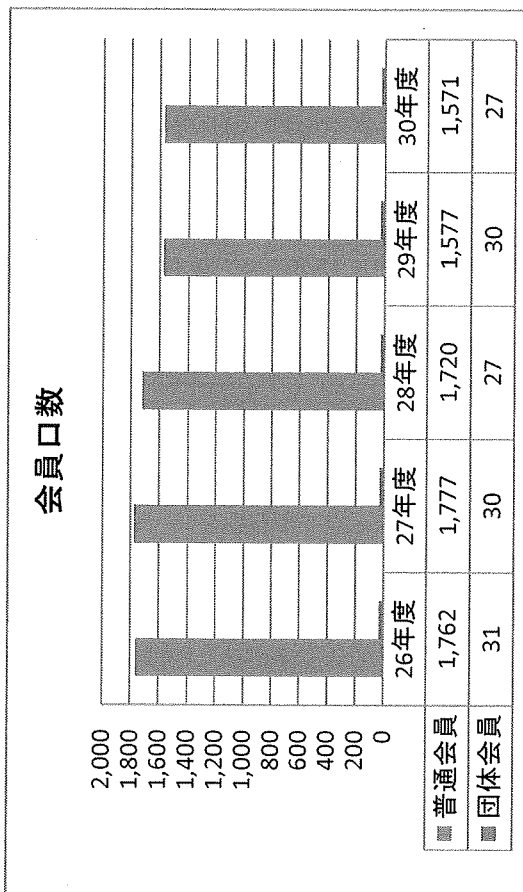
④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

社協会員加入状況（法人運営サービス区分）

《 会費収入額 920,500円 》

民生委員をはじめボランティアや関係機関等へ協力を依頼し、また広報誌による呼びかけ等を行い会員の加入促進を行いました。

結果として前年度より団体会員数、普通会员数が微減したため、会費収入が前年度を下回った形となりました。年々会員数が減少しているため、周知方法の見直し等、早急な課題解決に努めていきます。



④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

社会福祉事業(法人運営サービス区分他)

事業経営方針・改正された定款に基づき、理事会、評議員会、各種運営委員会を開催しました。また、第2期四万十市地域福祉活動計画評価検討委員会を開催し、計画の進捗状況等を確認しました。

※以下が主な会議の状況となっております。

月	日	会議内容等	場	所
5	28	【平成29年度 社協監査】監事2名・事務局2名 計4名	福祉センター	
7		【第1回理事会】理事8名・監事2名・事務局5名 計15名 ①平成29年度事業報告並びに法人会計(社会福祉事業・公益事業)決算について ②評議員会の招集について 報告事項 ①第2期地域福祉活動計画平成29年度報告について ②各種積立金等の状況について	"	
6				
25		【第1回評議員会】評議員8名・理事2名・監事2名・事務局2名 計14名 ①平成29年度事業報告並びに法人会計(社会福祉事業・公益事業)決算について 報告事項 ①第2期地域福祉活動計画平成29年度報告について ②社会福祉充実計画について	"	
8	1	【小口生活資金貸付事業運営委員会】委員4名・事務局2名 計6名 ①委員長の互選について ②延滞利子支払免除申請の取扱について ③平成29年度の貸付状況について ④平成31年度の貸付限度額の設定について	"	
28		【成年後見事業運営委員会】委員5名・事務局2名 計7名 ①委員長・副委員長の互選について ②平成29年度報告及び現在の状況について ③平成29年度協議事項について ④緊急時の対応について	"	
9	12	【配食サービス運営委員会】委員3名・事務局2名 計5名 ①事業運営状況について	"	
14		【第2回理事会】理事7名・監事2名・事務局5名 計14名 ①副会長の選定について 報告事項 ①職務の執行状況について ②小口生活福祉資金貸付事業延滞利子支払免除について ③地域包括支援センターの受託について ④処務規程の一部改正について	"	
11	20	【第1回臨時理事会】理事8名・監事2名・事務局5名 計15名 ①評議員会の招集について 報告事項 ①地域包括支援センターの受託について	"	

月	日	会議内容等	場	所
11	27	【第2回臨時理事会】理事8名・監事2名・事務局5名 計15名 ①会長の選定について 追加議案 ①評議員会の招集について	福祉センター	
5		【第1回臨時評議員会】評議員10名・理事1名・事務局2名 計13名 ①補欠による理事の選任について 報告事項 ①今後の日程等について	"	
12				
5		【第3回理事会】理事8名・監事2名・事務局5名 計15名 ①会長の選定について 報告事項 ①職務の執行状況について ②職員給与等に関する規程の一部改正について	"	
2	27	【地域福祉活動計画評価検討委員会】委員10名・アドバイザー2名・事務局8名 計20名 ①検討事項及び平成30年度の評価について	"	
12		【博多福祉人材バンク事業運営委員会】委員8名・事務局2名 計10名 報告事項 ①平成30年度事業実績(2月末)について 協議事項 ①平成31年度(2019年度)事業計画について	"	
3	18	【第4回理事会】理事7名・監事2名・事務局5名 計14名 ①平成30年度第1次補正予算の同意及び評議員会への提案の承認について ②役員報酬規程の一部改正の同意及び評議員会への提案の承認について ③平成31年度事業計画及び法人会計予算の同意及び評議員会への提案の承認について ④平成30年度第2回評議員会の招集について 協議事項 ①地域包括支援センター事業について 報告事項 ①個人情報保護規程の一部改正について ②苦情解決に関する規程の一部改正について	"	
27		【第2回評議員会】評議員8名・理事1名・事務局2名 計11名 ①平成30年度第1次補正予算について ②役員報酬規程の一部改正について ③平成31年度事業計画及び法人会計予算について	"	

④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備
社会福祉事業(法人運営サービス区分他)

役職員等の資質向上のため、下記のとおり積極的に研修会等へ参加しております。また、職員会等を開催し、研修報告や課題等を出し合い情報共有に努めています。

月	日	研修等名称	場 所	参加者数
4	12	第1回チーフ会	四万十市 社会福祉センター	5
	23	平成30年度第1回社会福祉協議会法人後見連絡会議	高知市 ふくし交流プラザ	2
	9	第2回チーフ会	四万十市 社会福祉センター	5
	9	第1回職員会	四万十市 社会福祉センター	13
5	15	ポランティアコーディネーター研修	高知市 ふくし交流プラザ	1
	17~18	高齢者疑似体験インストラクター養成講座	高知市 ふくし交流プラザ	2
	28~29	市町村社協職員基礎研修	高知市 高知青年の家	2
	4	第1回業務連絡会	四万十市 社会福祉センター	6
6	15	無料職業紹介事業における第1回業務連絡会	高知市 ふくし交流プラザ	3
	15	子どもの居場所開設準備講座・ポランティア養成講座	四万十市 中央公民館	2
	23~24	第9回市町村社協職員ブロック対抗交流運動会	高知市 障音者スポーツセンター	2
	29	四万十町移動サービス研修会	四万十町 十和田地域振興局	3
7	5	安全運転管理者等講習	宿毛市 JA高知はた宿毛支所	1
	9	社会福祉法人と連携した地域における公益的な取り組み研究会(第1回)	高知市 ふくし交流プラザ	1
	13	高知県くらしのサポーター養成講座	四万十市 中央公民館	1
	15	幡多地域医療介護連携推進事業多職種合同研修会	四万十市 幡多医師会館	8
8	20	高知県社協活動推進セミナー	高知市 ふくし交流プラザ	5
	25	福祉避難所に関する研修会	四万十市 中央公民館	1
	6	地域包括支援センター聞き取り調査	南国市社協・須崎市社協	2
	8	第3回チーフ会	四万十市 社会福祉センター	5
8	8	第2回職員会	四万十市 社会福祉センター	13
	9	地域包括支援センター聞き取り調査	土佐清水市社協・宿毛市社協	2
	11	キャリアバンメント養成研修	四万十市 健康管理センター	3
	18	平成30年度第1回ふくし就職フェア	高知市 かるぼーと	1

月	日	研修等名称	場 所	参加者数
8	23	第4回チーフ会	四万十市 社会福祉センター	5
	24	社会福祉法人と連携した地域における公益的な取り組み研究会(第2回)	高知市 ふくし交流プラザ	1
	31	平成30年度生活支援コーディネーター養成研修[第1部]	高知市 ふくし交流プラザ	1
	5	平成30年度成年後見制度利用促進セミナー	須崎市 市民文化会館	1
9	8	救急員基礎講習	四万十市 防災センター	9
	9	救急員養成講習会	四万十市 防災センター	9
	10	第2回業務連絡会	四万十市 社会福祉センター	5
	11	社会福祉法人と連携した地域における公益的な取り組み研究会(第3回)	高知市 ふくし交流プラザ	1
9	15	高次脳支援地域研修会	四万十市 社会福祉センター	1
	21	平成30年度生活福祉資金貸付制度説明会	須崎市 市民文化会館	1
	26~27	防火管理講習会	四万十市 新ロイヤルホテル	1
	27	平成30年度高知県法人後見担当者養成研修	高知市 ふくし交流プラザ	2
10	29	救急員養成講習会	流布プラザ	8
	12	第5回チーフ会	四万十市 社会福祉センター	5
	14	救急員養成講習会	四万十市 防災センター	8
	15	無料職業紹介事業における第2回業務連絡会	高知市 ふくし交流プラザ	1
11	24	平成30年度災害ボランティアセンター中核スタッフ研修	高知市 高知会館	2
	26	社会福祉法人の「公益的な取り組み」に関するブロック別意見交換会(幡多ブロック)	四万十市 社会福祉センター	3
	2	成年後見制度関係機関との連絡協議会	高知市 高知家庭裁判所	1
	8	第6回チーフ会	四万十市 社会福祉センター	5
11	14	第69回高知県社会福祉大会	高知市 ふくし交流プラザ	2
	15~16	平成30年度四国ブロック市町村社会福祉協議会研究協議会	愛媛県 総合社会福祉会館	1
	21	第3回職員会	四万十市 社会福祉センター	12
	26	地域づくりに関する研修会	四万十市 幡多福祉保健所	4

④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

月	日	研修等名称	場 所	参加者数
11	28	在宅医療・介護連携、地域支援事業との一体的な推進にかかわる研修会	高知市 高知県庁	2
	30	平成30年度高知県法人後見担当者養成研修(第2回)	高知市 ふくし交流プラザ	2
12	8	幡多地区社会福祉協議会連絡協議会研修会	三原村 農業構造改善センター	12
	13	平成30年度高知県法人後見担当者養成研修(第3回)	高知市 ふくし交流プラザ	2
	8	地域福祉活動計画推進研修会	高知市 ふくし交流プラザ	2
	9	第7回子一フ会	四万十市 社会福祉センター	5
	11	ファミリーサポートセンター事業聞き取り調査	安芸市社協・香南市社協	2
	12	地域住民を守る災害教護支援研修会	四万十市 中央公民館	1
1	16	社会福祉法人と連携した地域における公益的な取り組み研究会(第4回)	高知市 ふくし交流プラザ	1
	21	平成30年度高知県西部地域生活支援コーディネーター情報交換会	四万十町 農村環境改善センター	2
25~26	権利擁護先進地岡山県交流ツアー	岡山県 きらめきプラザ	2	
	26	災害ボランティアセンター運営基礎研修	四万十市 社会福祉センター	18
	28	成年後見・日常生活自立支援事業調査研究会	四万十市 市役所	2
	31	平成30年度市町村社会福祉協議会地域福祉コーディネーター研修	高知市 ふくし交流プラザ	4

平成30年7月豪雨により甚大な被害を受けました宿毛市と大月町の社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを立ち上げましたので、職員が交代で運営補助や現地作業に行きました。また、高知県社会福祉協議会より要請があり、愛媛県宇和島市社会福祉協議会にも運営支援に行きました。

月	日	災害ボランティアセンター名称	場 所	参加者数
7	10~15	宿毛市災害ボランティアセンター	宿毛市 総合社会福祉センター	12
	13~16	大月町災害ボランティアセンター	大月町 社会福祉協議会	4
8	30~8/3	宇和島市災害ボランティアセンター	宇和島市 総合福祉センター	1
	3~7	宇和島市災害ボランティアセンター	宇和島市 総合福祉センター	1

月	日	研修等名称	場 所	参加者数
2	3	聴覚障害者を対象とした防災学習会	高知市 ふくし交流プラザ	1
	9	平成30年度第2回ふくし就職フェア	高知市 かるぼーと	1
3	13	第8回子一フ会	四万十市 社会福祉センター	5
	13	第4回職員会	四万十市 社会福祉センター	12
	15	平成30年度市町村社会福祉協議会事務局長等セミナー	高知市 ふくし交流プラザ	1
	22	平成30年度生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)フォローアップ研修	高知市 ふくし交流プラザ	2
	1	平成30年度市町村社会福祉協議会監事研修会	高知市 ふくし交流プラザ	2
	5	高知県立大学社会福祉学部実習連絡協議会	高知市 高知県立大学	1
3	13	第3回業務連絡会	四万十市 社会福祉センター	6
	15	無料職業紹介事業における第3回業務連絡会	高知市 ふくし交流プラザ	1

延参加者数 267

④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

指定管理者施設運営事業(指定管理者施設サービス区分)

平成30年度 多目的デイケアセンター「一条の里」

《市受託金収入(指定管理料)1,774,000円 他財源 47,772円 決算額 1,821,772円》 《正職員1名兼務》

多目的デイケアセンター「一条の里」で行っている事業については、次のとおりで各実績については前述のとおりです。

- ① 配食サービス事業
- ② まちなかサロン事業
- ③ はつらつデイサービス事業
- ④ 障害者支援センター事業(相談支援事業)

平成30年度 四万十市総合福祉センター

《市受託金収入(指定管理料)決算額 798,053円》 《正職員1名兼務》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議研修室	8	3	4	6	10	3	7	6	5	6	9	3	70
福祉関係事務室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
応接室・相談室	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
休憩室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	9	4	4	6	10	3	7	6	5	6	9	4	73

④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

公益事業(福祉センター管理運営サービス区分)

平成30年度 社会福祉センター利用状況(免除)

月	大会議室			小会議室			老人憩いの室			研修室Ⅰ			研修室Ⅱ			小計			合計	
	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協		
4	2		5	1	3	8				2	5	5	2			8	7	8	26	41
5			6	1	3	6			1	1	4	5				4	2	7	22	31
6	2		1	3		5					7	2				7	5	7	15	27
7	3		4	2	3	3				2	5	4	2			3	9	8	14	31
8			2	1	3	4					2	9				1	1	5	16	22
9		3	3	1		4					5	3				3	1	8	13	22
10	2	1	4	1	3	4			2	3	4	4	2		1	3	8	9	17	34
11	1		4	1	4	6					5	6				5	2	9	21	32
12	2		1	1	3	6				2	3	3	2			6	7	6	16	29
1			6	1	3	3			3		3	7				7	1	6	26	33
2			4	1	3	5					5	4				7	1	8	20	29
3			1	1	3	5					3	5				6	1	6	17	24
合計	12	4	41	15	31	59	0	0	6	10	51	57	8	1	60	45	87	223	355	

市
団体
社協

教育委員会・教育研究所・行政相談
精神障害者家族会「虹の会」・朗読の会虹・中村手話サークルわかあゆ・認知症家族の会たんぽぽの会
社協事業・民協・日赤・共募・人材バンク・老人クラブ・身障連・ボランティア連絡協議会・社福公益的取組幡多ブロック・
地域福祉活動計画評価検討委員会・ボランティア勉強会・災害ボランティア情報交換会

平成 30 年度 事業報告の付属明細書

平成 31 年 3 月 31 日
四万十市社会福祉協議会

1. 他の法人等の重要な兼職の状況

区 分	氏 名	兼職先	兼職の内容	関 係
理 事	大林 郁男	特記すべき兼職はない		
〃	中平 晋祐	特記すべき兼職はない		
〃	宮下 貞子	特記すべき兼職はない		
〃	湯地 康夫	特記すべき兼職はない		
〃	谷 陽	特記すべき兼職はない		
〃	安田 沙知	特記すべき兼職はない		
〃	山沖美枝子	特記すべき兼職はない		
〃	横山恵美子	特記すべき兼職はない		
〃	欠 員			
監 事	弘井 弘	特記すべき兼職はない		
〃	山本 い久	特記すべき兼職はない		

2. その他

- ・事業報告を補完すべき事項はありません
- ・この明細書は、四万十市社会福祉協議会定款第 39 条第 1 項第 2 号により添付しております